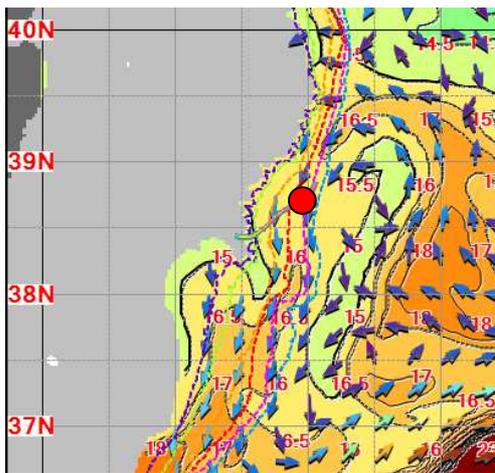


令和元年度サンマ南下期調査結果（令和元年 11 月 22 日）

令和元年 11 月 22 日に県漁業調査指導船「みやしお」により、表層トロールによるサンマ南下期調査を行いました。魚探反応がみられた県北部海域の 38° 46′~48′ N, 142° 01′~02′ E 付近で 30 分曳網した結果（表 1, 図 1），サンマは漁獲されず，体長 3.7~8.1 cm のカタクチイワシが漁獲されたことから，魚探反応はカタクチイワシと推定されました（図 2, 図 3）。水温は表層から 50m まで 16°C 台，塩分は 34.18 となっており，暖水の影響化にあります（表 2）。

表 1 調査海域と調査方法

調査日	時間	曳網開始位置		曳網終了位置		曳網速度 (ノット)	表面水温(°C)
		北緯	東経				
11月22日	10時~10時30分	38-48.89	142-02.67	38-46.52	142-01.71	4.1~4.6	16.5~16.6



142° E 143° E

● サンマ表層トロール調査海域（11月22日）

図 1 調査位置（漁業情報サービスセンター：エビスくん画像）

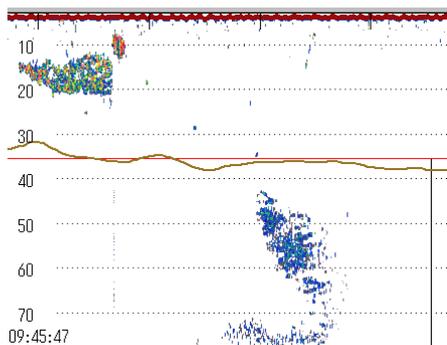


図 2 カタクチイワシの魚探反応
 (シムラッド 38kHz)

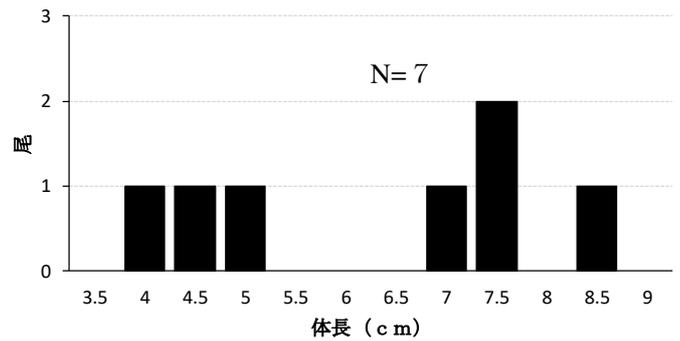


図 3 カタクチイワシ体長組成

表 2 調査海域の水温・塩分

水深	曳網開始海域	
	水温(°C)	塩分
0m	16.6	
10m	16.56	34.18
20m	16.55	34.18
30m	16.55	34.18
40m	16.55	34.18
50m	16.55	34.18
75m	16.01	34.19
100m	13.39	34.37
150m	9.09	34.04
200m	5.45	33.68